



○新会員が66名増えた！会員数415名に！！

2021年度、リニューアルして活動を開始したたすけあいの会ですが、5月24日～7月末、8月30日～9月末とコロナ感染拡大による活動休止や新規受付中止を余儀なくされながらも、困っている方のお役に立ちたいと活動を続けてきました。毎日、本部事務局のある県生協連の電話が鳴ります。「フリーダイヤルです」と流れるとドキ！緊張して「はい、コープくらしのたすけあいの会です。どうされましたか」と出ると、「草がボウボウ伸びて困ってしまいました。去年までは自分でしたんだけど、もう膝曲げられなくて草取れなくなった。」とのこと。「早速コーディネーターに見に行ってくださいませので、2～3日お待ちください」と対応。一日がこうして始まります。

会員生協の広報紙等に「たすけあいの会」を掲載していただいたことから、新利用会員34名、活動会員19名、賛助会員は13名増えました。現在、新規の依頼にも安心して対応できるようになりました。

8月の活動の特徴

	青森	八戸	弘前	下北	合計
草取り	31	24	4		59
庭木の枝切	1	3	2		6
調理	4	1			5
掃除	22	23	1	2	48
食後後片づけ	2	3			5
床のワックスがけ		1			1
薬取り	1				1
通院付添	1				1
買物代行				4	4
墓掃除・お参り				3	3
合計	62	55	7	9	133



- * 7月末まで活動休止としたため、草が伸び放題となり草取や庭木の処理が65件と49%と半数をしめた。とにかく暑い中汗だくで乗り切りました。
- * 調理や掃除、後片づけなど、家事援助が54件40%を占めます。
- * 薬取りや受診付添、墓参りなど外出サポートが9件7%でした。

○包括支援センターやケアマネ、町役場からの依頼も

たすけあいの会には、利用者さんから直接の依頼の他、地域包括支援センターやケアマネージャー、行政からの相談問い合わせもあります。



- ・介護保険認定を受けていない高齢のAさん、掃除しながら見守りをお願いしたい。
- ・介護度2のBさん、ヘルパーさんが入っているが、Bさんの使う部屋以外は掃除ができない。たすけあいをお願いしたい。
- ・県病の受診に付き添ってほしい。院内が広いので一人で動き回るのが大変。
- ・一人親の家庭の支援にたすけあいの会で協力してほしい。

○たすけあいの会弘前地域で活動会員研修会を開催しました



活動会員が11名増えて24名になった弘前地域では、新活動会員の研修会を7月28日(水)津軽保健生協1階研修室で開催しました。

最初は、(株)フィットケアサービスさんによる「安全な車いす操作について」です。ブレーキの使い方、坂道の降り方、最新の車いすの機能、福祉用具の使い方等についてお話があり、参加者からは、体験も含めてたくさんの質問が出されました。

次は、第1包括支援センター堀川恵所長さんによる「介護を取り巻く状況とたすけあいの会への期待」のお話です。堀川所長は、包括支援センターの役割と介護保険制度の現状に触れ、制度の狭間で困っている方や増える認知症高齢者への対応など、地域の中で見守り支え合うことが大切。包括はそのセンターとしての機能を担っている。たすけあいの会は地域の支えあいを広げる役割を發揮している、とエールが送られました。参加者から、包括の役割がわかった、たすけあいの力を發揮したい、認知症サポーター養成講座を受講したい、などの感想が出されていました。



○賛助会員の会費の納入にご協力ください

賛助会員の皆さん、2021年度も半分が過ぎようとしています。今年度の会費がまだの方は、同封の郵便払込用紙で郵便局から払込をお願いします。

○たすけあい協力金の募金にご協力ください

今年度から「たすけあい協力金」が新たに始まりました。これは、たすけあいの会の活動を広げていくための活動資金の募集のことです。金額は問いません。皆さんの「たすけあいの会をもっと広げたい」という気持ちを、協力金に込めてください。同封の郵便局払込用紙で郵便局から、またはコーディネーターに託してください。ご協力をよろしくお願いいたします。

↑ 同封の赤い「払込取扱票」をご活用ください！